◆鴻巣市人口構成

- ・ 2019 年 4 月 1 日現在、住民基本台帳に基づく鴻巣市の人口は「118,512 人」
- ・ 総人口は 2010 年 6 月の「121,087 人」をピークに減少傾向。
- ・ 社会人口については、直近3か年「100名」前後の超過傾向。
- ・ 自然人口については、2008年以降、死亡数が出生数を上回る。
- ・ 当該区域が包含される「鴻巣地域」においても、人口は減少傾向。
- ・ 全国的傾向と同様、老年人口比率が増加傾向にあり、現時点で29%。

≪参考:鴻巣市の人口 2019.4.1 現在≫

■総括表

_ 10 IR 21									
区分	総世帯数	総人口		日本人		外国人			
			総数	男	女	総数	男	女	
今月	49, 929	118, 512	116, 762	57, 809	58, 953	1, 750	880	870	
先月	49, 786	118, 626	116, 882	57, 892	58, 990	1, 744	876	868	
月間増減	143	-114	-120	-83	-37	6	4	2	

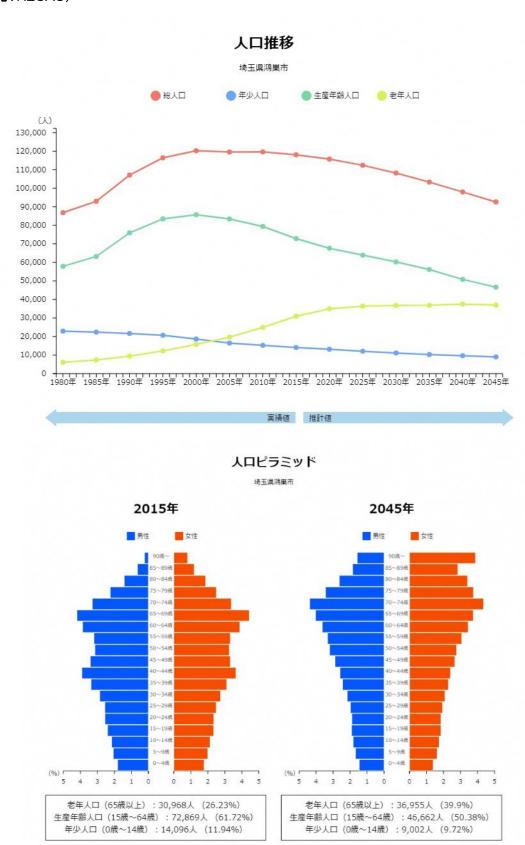
■人口の推移 (各年 4月 1日現在)

■人口の推移			4月 1日現		I								
		区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
総数	人	П	120, 798	120, 981	120, 841	120, 541	120, 036	119, 494	119, 194	119,076	119, 048	118, 974	118, 512
		日本人	118, 851	119, 157	119, 162	118, 965	118, 704	118, 173	117, 925	117, 737	117, 629	117, 395	116, 762
		外国人	1, 947	1,824	1,679	1, 576	1, 332	1, 321	1, 269	1, 339	1, 419	1, 579	1,750
		年間増加数	3	183	-140	-300	-505	-542	-300	-118	-28	-74	-462
	至	間増加率		0. 15	-0.12	-0.25	-0.42	-0, 45	-0.25	-0.10	-0.02	-0.06	-0.39
		鴻巣地域	82, 351	82, 502	82, 488	82, 221	82, 041	81, 619	81, 358	81, 144	80, 961	80, 558	80, 038
		鴻巣地区	· ·	26, 309	26, 165	25, 861	25, 695	25, 548	25, 301	25, 242	25, 035	24, 920	24, 713
		箕田地区	13, 385	13, 618	14,007	14, 026	14, 059	13, 945	14, 021	14, 006	14, 103	14, 068	13, 923
		赤見台地区	6,666	6, 540	6, 464	6, 437	6, 340	6, 190	6, 050	5, 953	5, 872	5, 753	5, 769
	地域	田間宮地区	14, 255	14, 273	14, 301	14, 372	14, 338	14, 333	14, 357	14, 417	14, 397	14, 412	14, 341
日本人	別	馬室地区	15, 380	15, 358	15, 224	15, 253	15, 418	15, 453	15, 541	15, 571	15, 673	15, 635	15, 630
		笠原地区	3, 121	3, 091	3,024	2, 996	2, 952	2, 915	2, 856	2, 779	2, 735	2, 686	2,622
		常光地区	3, 238	3, 313	3, 303	3, 276	3, 239	3, 235	3, 232	3, 176	3, 146	3, 084	3, 040
		川里地域	8, 314	8, 389	8, 506	8, 512	8, 525	8, 528	8, 511	8, 542	8, 531	8, 582	8, 553
		吹上地域	28, 186	28, 266	28, 168	28, 232	28, 138	28, 026	28, 056	28, 051	28, 137	28, 255	28, 171
		年少 人口	15, 528	15, 301	15, 108	14, 872	14, 652	14, 397	14, 221	14, 067	13, 929	13, 802	13, 530
	年	比率	13.07	12.84	12.68	12.50	12.34	12. 18	12.06	11. 95	11.84	11.76	11.59
	齡	生産 人口	79, 978	79, 564	79, 267	78, 173	76, 657	74, 995	73, 545	72, 298	71, 290	70, 295	69, 200
	区分	年齢 比率	_	66. 77	66.52	65.71	64. 58	63.46	62. 37	61.41	60.61	59.88	59. 27
	л	老年 人口	23, 345	24, 292	24, 787	25, 920	27, 395	28, 781	30, 159	31, 372	32, 410	33, 298	34, 032
		比率	19.64	20. 39	20.80	21.79	23.08	24. 35	25. 57	26, 65	27. 55	28. 36	29. 15
		鴻巣地域	1,662	1, 549	1, 411	1, 316	1,071	1, 052	1,000	1,061	1,086	1, 199	1,315
		鴻巣地区	355	296	249	244	223	207	185	206	199	213	228
		箕田地区	573	556	487	442	348	338	302	312	314	381	409
		赤見台地区	119	120	128	115	99	100	107	119	136	135	152
	地域別	田間宮地図	471	443	403	414	292	289	268	284	281	301	316
	別	馬室地区	105	92	108	85	82	88	101	103	113	126	161
外国人		笠原地区	I ► 39	42	36	8	6	7	11	14	17	15	22
		常光地区	ا ا	1.5			ľ	25	26	23	26	28	27
人		川里地域	38	35	36	43	41	45	44	38	50	63	80
		吹上地域	247	240	232	217	220	224	225	240	283	317	355
		年少 人口	255	234	217	176	148	152	141	149	149	166	177
	年	比率	13. 10	12. 83	12.92	11. 17	11.11	11.51	11. 11	11. 13	10.50	10.51	10.11
	齡	生産 人口	1,661	1, 561	1, 426	1, 364	1, 145	1, 127	1, 085	1, 138	1, 215	1, 353	1,507
	区分	年齢 比率		85. 58	84. 93	86, 55	85, 96	85. 31	85, 50	84. 99	85. 62	85, 69	86.11
		老年 人口	31	29	36	36	39	42	43	52	55	60	66
		比率	1.59	1. 59	2.14	2, 28	2. 93	3. 18	3.39	3.88	3.88	3.80	3.77

◆鴻巣市人口構成の見通し

・ 2015 年国勢調査に基づく、国立社会保障・人口問題研究所の「推計人口」「人口ピラミッド」は以下グラフの通り。

(出典元: RESAS)



◆鴻巣市昼夜間人口構成比率

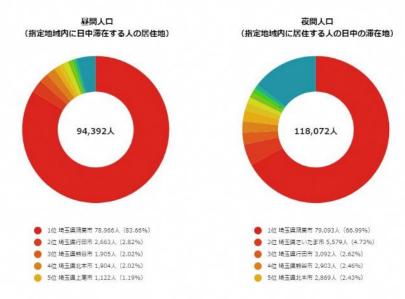
- ・ 2015 年国勢調査に基づく、「昼夜間人口比率(年齢階層別・地域別)」は以下グラフの通り。
- ・ 首都圏ベットタウンとして発展した本市の特徴の通り、昼間人口が少なく、近隣市と比較しても 少ない状況。

(出典元:RESAS)

昼間人口・夜間人口の地域別構成割合

2015年 埼玉県鴻巣市

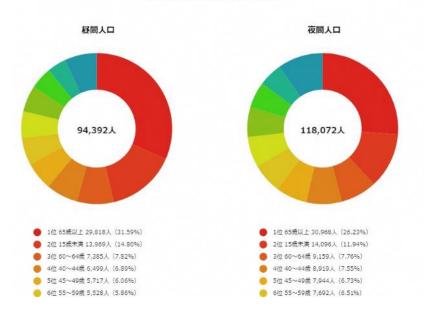
昼間人口:94,392人 夜間人口:118,072人 (昼夜間人口比率:79.94%)



昼間人口・夜間人口の年齢階級別構成割合

2015年 埼玉県鴻巣市 総数

昼間人口:94,392人 夜間人口:118,072人 (昼夜間人口比率:79.94%)



◆その他「統計データ」に見る市の強み弱み

・ 本市近隣市と比較した統計データにおける強み弱み一覧は以下の通り。(2015 年データより)

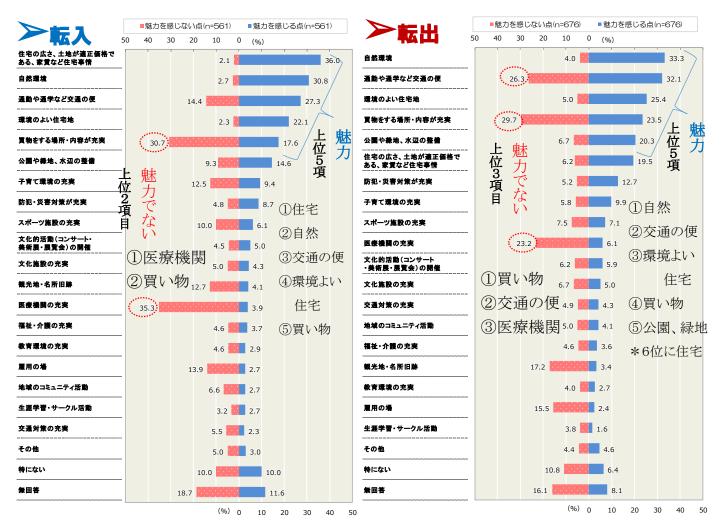
(出典:第6次鴻巣市総合振興計画)

	強み	やや強み	普通	やや弱み	弱み
人口・世帯	・独居高齢者割合	・単身世帯割合	・高齢者人□割合(65歳以上) ・人□増加率	・年少人□割合 (15歳未満) ・社会増減率 ・合計特殊出生率* ・人□千人あたり婚姻率	
都市形成	・市域に占める住地面積割合	・人口集中地区人口比率 ・人口集中地区人口密度		 ・市域に占める市街化区域* 面積割合 ・市域に占める人口集中地区 面積割合 ・可住地に占める市街化区域 面積割合 ・可住地に占める人口集中地区 面積割合 ・可住地面積割合 ・可住地面積割合 	
経済基盤		・人口千人あたり第1次産業 市内総生産額 ・黒字企業比率 ・創業比率	・人口千人あたり観光入込客数 ・1世帯あたり課税対象所得額	・人口千人あたり商業年間商品 販売額(卸売業・小売業合計) ・人口千人あたり事業所数 ・人口千人あたり製造品 出荷額等 ・人口千人あたり市町村内 総生産	・人口千人あたり従業者数
にぎわい・ 交流			・人口千人あたり小売店数 ・人口10万人あたり大型店舗数 ・地元購買率 (A群:日用品・雑貨) ・地元購買率 (家族で買い物を楽しむ場合)	・他市区町村への通勤者比率 ・人口千人あたり飲食店数 ・可住地面積あたり新設住宅 (貸家) 着工戸数	・他市区町村からの通勤者比率 ・昼夜間人口比率
生活基盤		・公共下水道 [*] 普及率 ・人口1人あたりごみ総排出量 ・ごみのリサイクル率 ・耕作放棄地 [*] 率・持家世帯比率	·住宅地地価変動率	・人口1人あたり都市公園* 面積 ・商業地地価変動率	・市町村道舗装率
安全	・人口千人あたり刑法犯 認知件数 犯罪率	・人口千人あたり交通事故発生 件数 交通事故 (人身事故) 発生率		・人口1万人あたり出火件数 出火率	・自主防災組織組織率
健康・医療		・人口10万人あたり生活習慣病* による死亡者数 ・人口10万人あたり自殺者数	・人口10万人あたり一般病院 一般病床数 ・人口10万人あたり 一般診療所数	・健康寿命 [*] (男)	・人口10万人あたり医師数 ・健康寿命(女)
福祉· 社会保障	・老年人□千人あたり介護老人 施設定員数 ・生活保護率	・保育所入所待機児童数 ・1人あたり後期高齢者医療費 ・要介護(要支援)認定*率		・1 人あたり医療費 (国民健康保険)	
教育・文化		・児童千人あたり小学校数 ・小学校・中学校の耐震化率 ・市民1人あたり図書貸出数 ・人口千人あたりNPO法人 登録団体数	・小学校 1 学級あたり児童数 ・生徒千人あたり中学校数	・人口1万人あたり公民館数 ・児童千人あたり放課後児童 クラブ数	
行政基盤	・実質公債費比率 ・市民千人あたり職員数	・財政の柔軟性・経常収支比率** ・1人あたり公共施設延床面積	・市・関連団体の総負債・将来 負担比率 ・市民1人あたり積立金 (貯金) 残高	・財政力の強さ・自主財源割合・ 財政力指数	・市民1人あたり地方債(借金) 残高

◆H27 実施「鴻巣市転入・転出者アンケート」概要(「案件概要書2(1)③:現状及び課題」部分)

- ・目的:転入・転出者の特徴傾向を掴み、施策に反映。 ・対象者:平成 26 年中に転入・転出した世帯主
- 実施期間: 2015 年 8 月~9 月
- •配布数:転入者:1,697 人 転出者:2,528 人 •回収数(回収率):転入者:561 件(33%) 転出者::676 件(26%)

≪転入・転出者が見た、当市の魅力≫



●転入者

魅力的:「住宅事情」「自然」「交通」

魅力を感じない:「医療機関」「買い物環境」⇒ 突出

●転出者

魅力的:「自然」「交通の便」「住宅環境」 魅力を感じない:「買い物環境」「交通の便」 「医療機関」

≪市民ニーズである、「医療機関」「買い物(商業機能)」についての、市の取組状況≫

1)医療機関

- ・ 人口 10 万人当たりの病床数が全国ワースト 2 位の埼玉県の中でも、本市が属する「県央保健 医療圏」及び「鴻巣市」の病床数は、県平均以下。(平成 24 年度調べ)
- ・ 平成25年度~平成27年度に、北鴻巣駅箕田地内にて、特に本市に不足する医療機能である「第二次救急」「小児医療」「周産期医療」を満たす「総合病院誘致構想」に取り組むものの、「建築費高騰」「経営環境の悪化」等を理由に、交渉先医療法人との交渉は、白紙となる。
- ・ 以降、場所等も含め条件を白紙に戻し、多角的検討を行っているものの、具体化までには至 らず。
 - ⇒ 本案件対象地においても、「病院」「診療所」等の「医療機関の参画」が望めるようであれば、市としての検討優先度は高い。

(※特に「第二次救急」「小児医療」「周産期医療」については、是非とも誘致したい医療機能として認識。)

2)買い物(商業機能)

- ・ 本市総合振興計画 土地利用構想(以下「図」参照)や、都市計画マスタープラン等においては、駅周辺や旧街道沿いを中心に商業・業務機能の集積を図るエリアとして、土地利用の誘導を推進。特に、中心市街地である鴻巣駅東口では再開発事業による都市環境整備を推進中。
- ・ 一方、日常購買需要を満たす「商店」や「スーパー」等は縮小傾向にあり、「空き店舗対策事業 費補助の創設」等の対策を講じているものの、市民ニーズの改善までには至っていない状況。
 - ⇒ 本案件対象地が、広域的ニーズを網羅できる規模感は持ち合わせていない点は認識する中で、本機能により、人が集う環境を創出 or 補完する提案等があれば、望ましい。

